

特殊詐欺被害と相談状況抜粋(令和8年5月中認知)

番号	種別	被害関係	情報提供者 被害者	手段 相手方	相手方の文言等
1	二七警察詐欺	【発生日】 1月23日 【場所】 新居浜市	70歳代 男性	携帯電話  大阪府警を名乗る男 <u>(被害額:566万円)</u>	大阪府警の警察官を名乗る男から電話があり、「 <u>詐欺グループを逮捕したら、あなたのキャッシュカードを持っていた。</u> 」確認のため、あなたが持っている口座を教えてください。」などと言われ、自分名義の口座番号などを伝えた。さらに、警察官を名乗る男は「大阪府の検察庁と話してください。」と言い、相手から指定された大阪府の検察庁を名乗る <u>SNSアカウントと連絡</u> を取るようになる。その後、検察庁を名乗るアカウントから「 <u>口座を精査する必要があるので、お金を送るよう</u> に。」と指示され、相手から指示された口座に現金合計566万円を振り込まされ、だまし取られた。
2	架空請求	【発生日】 4月16日 【場所】 松山市	60歳代 男性	パソコンのポップアップ表示  サポートセンター職員を名乗る男 <u>(被害額:100万円)</u>	被害者が自宅パソコンでインターネットサイトを閲覧中、 <u>突然アラーム音</u> が鳴ってパソコンを操作できなくなり、 <u>画面には警告と連絡先</u> が表示された。被害者が連絡先に電話をかけたところ、サポートセンター職員を名乗る男から、「 <u>ウイルスに感染している。リモート操作でパソコンを調べるので、リモート操作を承認してください。</u> 」などと言われ、男の指示に従いパソコンを操作したところ、パソコンが遠隔操作される状態となった。その後、男から、「 <u>ネットバンキングの感染を調べる。</u> 」と言われ、指示に従い、IDとパスワードを入力した。さらに、「手数料として1,500円が必要であり、ネットバンキングで振り込んでもらう必要がある。」などと言われたことから、男の指示に従い、インターネットバンキングで1,500円の振込みを承認するボタンを押したところ、何らかの方法で金額が変更され、100万円が送金されており、だまし取られた。
3	郵便局員かたり ↓ 警察官かたり	【発生日】 5月12日 【場所】 松山市	70歳代 男性	固定電話  ①郵便局員を名乗る男 ②警察官を名乗る男 (被害なし)	①「あなた宛ての荷物をスキャンすると、現金やキャッシュカードが入っていた。」「何者かに個人情報を使われているので、被害届を出すように。」 ②「 <u>電話で被害届を受理する</u> ので、住所、氏名、電話番号を教えてください。」
4	金融機関かたり	【発生日】 5月14日 【場所】 松山市	70歳代 女性	固定電話  金融機関職員を名乗る男 (被害なし)	「あなた名義のカードで金50グラムを買っているが、振込みがされていらない。」「カードを偽造されているのであれば、警察で手続きが必要だ。」
5	オレオレ詐欺	【発生日】 5月22日 【場所】 松山市	80歳代 男性	固定電話  息子を名乗る男 <u>(被害額:200万円)</u>	被害者方の固定電話に、息子を名乗る男から電話があり、「喫茶店で鞆を盗まれた。」「 <u>仕事の手続きを進めるためにお金が必要になった。助けてほしい。</u> 」などと言われた。続けて、喫茶店の店長を名乗る男や息子の上司を名乗る男とも電話で話したことで、被害者は相手の話をより信用した。その後、被害者は、息子を名乗る男から、「もうすぐ、 <u>上司の親族がお金を取りに行く。</u> 」「お金を持って玄関に出ておいてほしい。」などと電話で説明され、被害者方に現れた男に現金200万円を手渡し、だまし取られた。